

事業番号	0019	事業名	受刑者就労支援体制等の充実
------	------	-----	---------------

外部有識者の評価結果

1 事業全体の抜本的改善	0
2 事業内容の改善	6
3 現状通り	0

【事業内容の改善】

- 直感的には人道的で有用な事業だと思うが、事業の目標が再犯率の低減にあるのであれば、就労支援と再犯との相関を統計的に検証する作業が欠かせない。よりプラクティカルな面でいうと、
 - (1) 訓練種目がやや古くさい
 - (2) 官庁内部の職員が指導に当たるとすれば、そのポジションが既得権化するといった欠点がある。民間企業の一層の活用が望まれる。
- 職業訓練希望者(5%)を増やすため、原則として全員に教育する。
- 再犯防止という目標にどれ程の効果が実際にあるかの検証を行い、更に良い取組につなげていくべき(効果の測定が現状では漠然としすぎる。)。社会復帰それ自体の趣旨も、もっと強調されてよいのでは。
- 予算措置等の工夫が必要。再犯防止に効果があるか否かの精査が必要。
- 建設関連の訓練種目に偏っている傾向があり、事務系の訓練種目を広げる必要がある。建設関連に偏ると、建設事業が減ると就業が困難になる恐れがある。目標設定をもっと明確にすべきである。
- 事業の効果を今後検証し、コスト対効果を改善するとともに、訓練内容の一層の適正化を図るため、訓練後の実態の長期的効果を実証する仕組みの導入が望ましい。